

「安全・確実な施工品質」
「意匠性の向上」
「CO₂排出削減」をめざして。



外装タイルの接着剤張り工法は、剥離防止に有効であると同時に、従来のモルタル張りに比べ、張付け材料及びタイル製造時のCO₂排出量削減というメリットがあります。

全国タイル工業組合では、接着剤張り工法の普及と、施工品質をさらに高めるため、『外装タイルと有機系接着剤の組合せ品質認定制度：Q - CAT』を創設・推進しています。

全国タイル工業組合

目次

- ■ 接着剤張りの概要
- ■ 接着剤張りのメリット
- ■ Q - C A T概要
- ■ 認定について
- ■ 下地の適用範囲
- ■ 今後の接着剤張り標準化(方針と市場予測)
- ■ 全タ工からのご案内など

初めまして!!
Q - C A Tマスコット
キャラクターです。



■ 接着剤張りの概要

接着剤張りとは、有機系接着剤をくし目ごてで塗布し、タイルを張る工法です。

接着剤



接着剤塗布



タイル張り

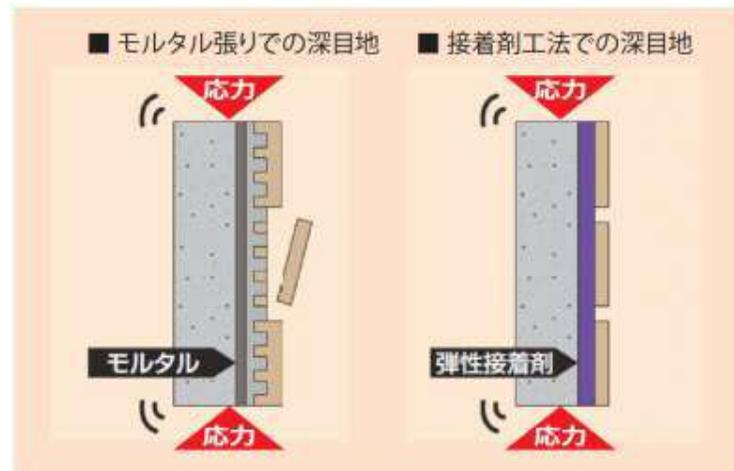


■ 接着剤張りのメリット

安心・安全

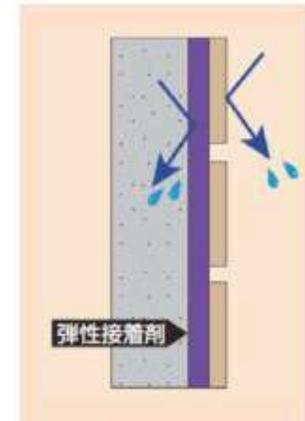
剥離の危険性を軽減します。

コンクリートは、自重によるクリープや乾燥収縮等により、収縮します。弾性接着剤は、これらの構造躯体からくる変形応力を吸収し、タイル剥離の危険性を軽減します。これにより、従来のモルタル張りでは危険とされていた深目地施工が可能になります。



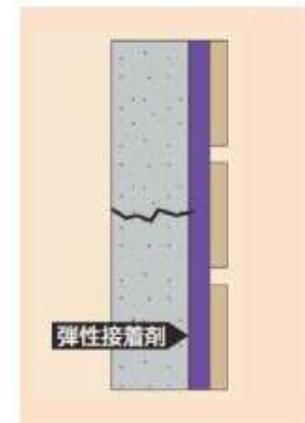
白華・粉吹きなどの汚れを軽減します。

弾性接着剤は、内部と外部の水の行き来を抑制することができます。そのため、白華・粉吹き現象がおきにくくなり、美しい壁面を維持できます。



構造クラックを軽減。
タイルの割れが減少します。

コンクリートは、乾燥収縮・地震・熱変形・地盤の不同沈下など、さまざまな原因でクラックが入ることがあります。弾性接着剤は、これらの構造クラックが表面に露出することを軽減することができます。



■ 接着剤張りのメリット



高意匠

目地詰めしない空目地施工で、従来のモルタル張りではできなかった複雑な面状のタイルが使用可能に。タイル独特の陰影感を演出します。





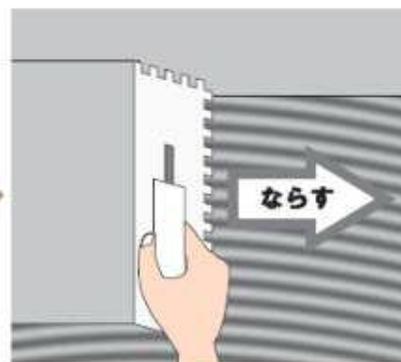
省施工

空目地とすることで、従来のモルタル張りに比べて目地詰め、目地洗いの工程が不要。施工工程を短縮できます。

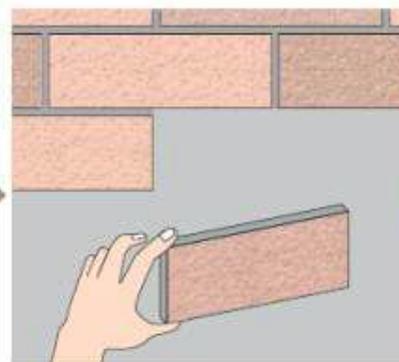
■ 施工方法



くし目コテで、くし目を立てて接着剤を均一に伸ばします。



必要に応じてコテの平らな部分で押さえて平滑に仕上げます。



タイルを割付けに従って張り付けます。



仕上げイメージ

従来のモルタル張りでは一本目地詰めが必要だったラフ面やテッセラ面などのタイルも、接着剤張りなら空目地施工が可能です。

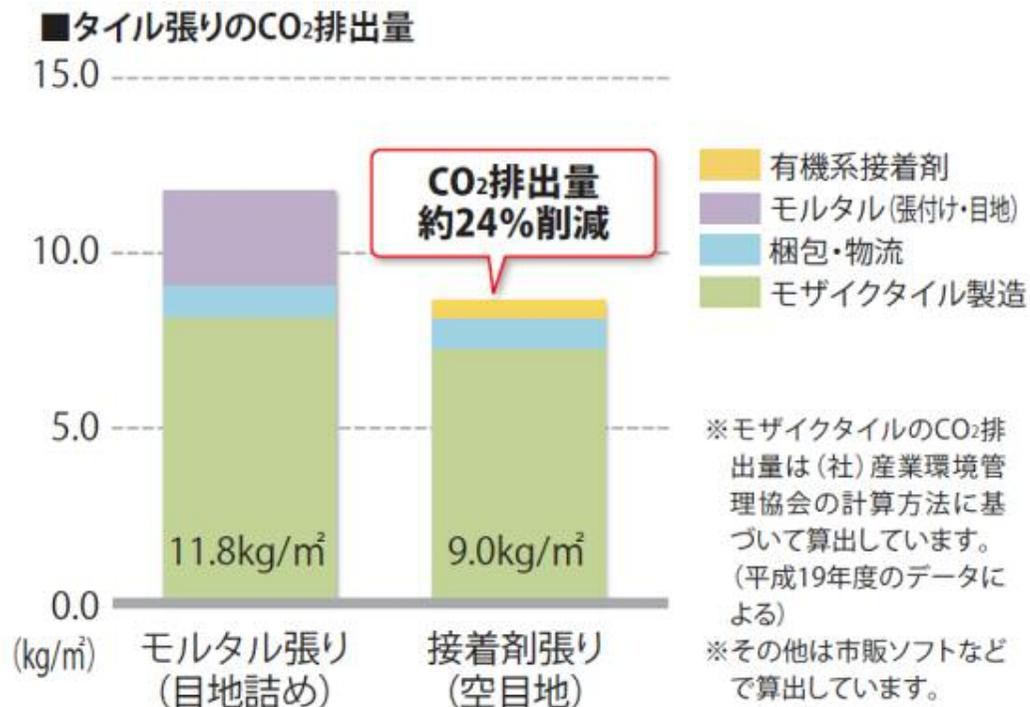
従来の
一本目地詰めは
不要





環境配慮

接着剤張りはモルタルで施工する場合に比べて、張付け材料およびタイル製造時のCO₂排出量を削減できます。



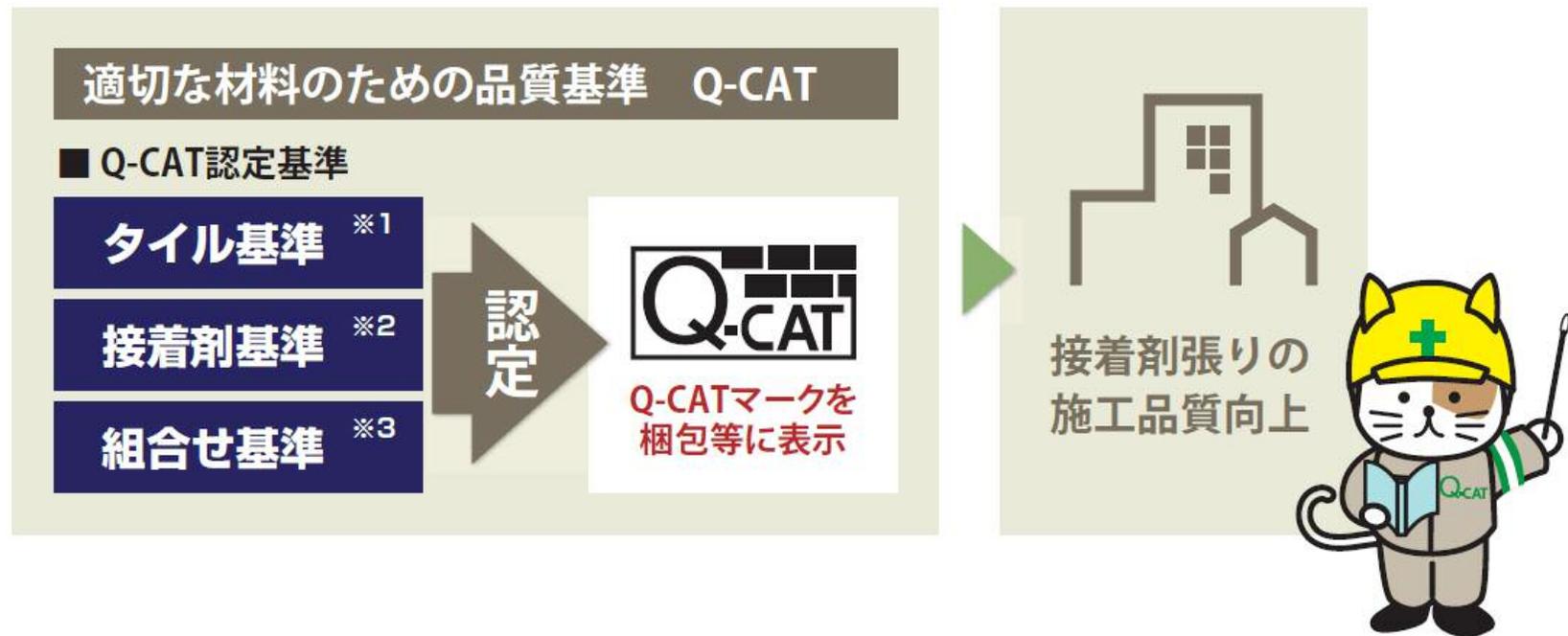
Q - CAT認定タイルはグリーン購入法(国などによる環境物品等の調達の推進等に関する法律)に適合しています。

グリーン購入法
適合商品

■ Q - CAT概要

建築総合展 NAGOYA 2009

接着剤張りの施工品質を確保するためには、適切な材料、適切な施工技術、適切な現場管理の3要素が重要となります。Q - CAT は、「適切な材料」の品質基準を定める制度です。
“タイル基準” “接着剤基準” “組合せ基準” を定め、認定マークの付与により、適切な材料の普及を目的としています。



- 1: タイル基準: JIS A5209(陶磁器質タイル)を基本として、接着剤張りに適した裏面形状等を考えています。
また、グリーン購入法やその他の環境に配慮した公的な基準も取り入れます。
- 2: 接着剤基準: 耐久性の基本品質としてのJIS A5557(外装タイル張り用有機系接着剤)の他、各種下地への接着性、
ずれ抵抗性、目地詰めをしない場合の外観品質等を審査します。
- 3: 組合せ基準: タイル裏面への接着剤の付着面積の確保、現場でのずれ抵抗性等を審査します。

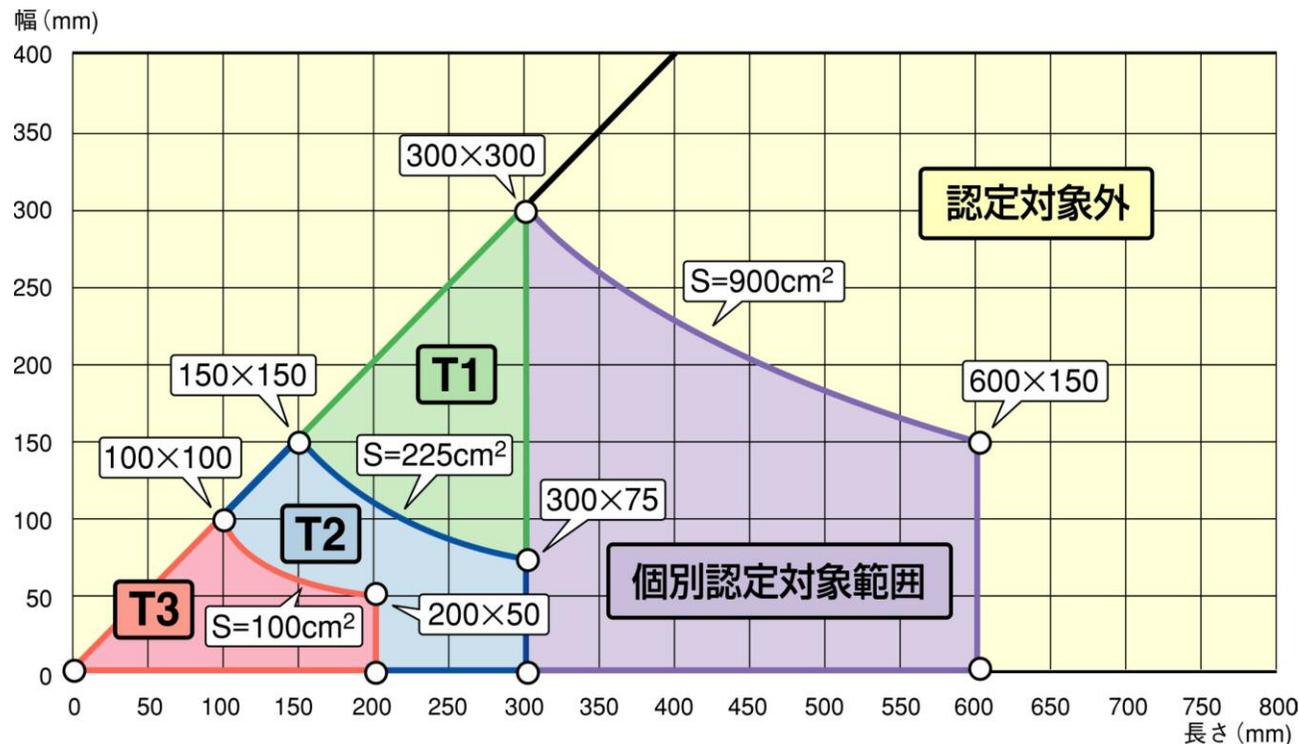
■ 認定について

認定は、「型式認定」と「個別認定」のいずれかにより行います。

(1) 型式認定

型式認定は、一定の品質基準を満たしたタイルと、一定の品質基準を満たした接着剤に対して、それぞれの組合せを個別に評価しなくとも、組合せ品質が確保されていると認める簡易認定制度です。なお、施工方法(くし目条件)は指定されます。

タイルの型式は、「長さ」、「面積」、「単位面積質量」を基にし、T1～T3型に区分され、接着剤の型式は、タイル型式に対応する ずれ抵抗性によりC1～C3型に区分されます。



タイルの長さ、幅及び面積Sによる型式区分

(2) 個別認定

個別認定は、型式認定の範囲外のタイルについての認定方法で、指定した接着剤と施工方法(くし目条件)を指定し、その組合せを個別に評価して認定する制度です。

各認定区分におけるタイルと接着剤の組合せ、及び施工方法(くし目条件)

認定区分	タイルの型式区分	組合せ可能な接着剤の型式	施工方法(くし目条件)
型式認定	T1型	C1型	目地詰めありの場合 : 5mmくし目 + ヴィブラート
	T2型	C1型、C2型	目地詰めありの場合 : 5mmくし目 目地詰めなしの場合 : 5mmくし目平押さえ
	T3型	C1型、C2型、C3型	目地詰めありの場合 : 3mmくし目 目地詰めなしの場合 : 5mmくし目平押さえ
個別認定	それ以外 (4)	タイルと接着剤の組合せを個別に評価	認定時に指定した施工方法

4 : 長さは600mm以下、面積は900cm²以下を上限とし、それを超えるタイルは、Q-CATの認定対象外となります。

導入初年度(平成21年度)については、
下地は、セメント系下地に限定します(下図参照)。

(ALCパネル下地への適用については、日本建築仕上学会の研究結果を待って判断することとしています。)

下地の区分	セメント系下地
下地の種類	モルタル(JASS15) ⁵ 、コンクリート、 押出成形セメント板

5: JASS15: 日本建築学会 建築工事標準仕様書・同解説 JASS15左官工事

その他の下地(窯業系サイディング、金属サイディング、鉄板等)
については、次年度以降の導入を検討しています。

■ 今後の接着剤張り標準化(方針と市場予測)

建築総合展 NAGOYA 2009

施工実績が20年を迎え、JIS A 5557認証品(外装タイル張り用有機系接着剤)が市場に登場する今年、全国タイル工業組合はQ-CATを導入し、さらにその先には、公的標準化、国際標準化へと取り組みを進め、品質面、環境面で国内外の建築市場に外装タイルの接着剤張りの価値を普及していきます。

方針(狙い)	技術と標準化ステップ	市場予測
<p>デジュール標準化</p> <p>グローバル化対応</p>	<p>外装ISO化(2012-)</p> <p>↑</p> <p>官庁基準仕様化(2010-)</p> <p>↑</p> <p>JASS19接着張り仕様化(2010-)</p> <p>↑</p> <p>JIS A 5557認証品発売(2009) JIS A 5209接着剤張り仕様化(2010-)</p>	<p>国際標準 海外市場進出</p> <p>モルタル張りからの転換 さらなる普及 (目標60%)</p>
<p>フォーラム標準化</p> <p>業界全体でのさらなる品質向上</p>	<p>瑕疵補償制度導入 全夕協(2010-)</p> <p>↑</p> <p>現場審査制度/施工技能工認定制度 全夕協(2010-)</p> <p>↑</p> <p>接着剤張り認証制度 Q-CAT 全夕工(2009秋導入)</p>	<p>Q-CATによる認知確立と安定市場の形成</p> <p>普及率(20%)</p>
<p>昨年まで 各企業での対応</p>	<p>タイルはJIS A 5209対象外のため 各社独自の品質基準で運用</p> <p>接着剤はJIS A 5557は2006年に制定 認定品はなく、「官民研究適合品」の自主表示のみ</p>	<p>一部で普及が進む</p> <p>普及率(5%)</p>

2009年11月11日(水)～13日(金)
Japan Home ShowにてQ-CAT展示会実施
(東京ビッグサイト東ホール1H10)

2009年12月1日制度運用開始予定

これからのQ-CAT及びタイル業界の活躍にご期待ください！

ご静聴ありがとうございました。

